

製品名: ILK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00367**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 51 kDa; Observed MW: 51 kDa

抗原情報

遺伝子名	ILK
別名	ILK; ILK1; ILK2; Integrin-linked protein kinase; 59 kDa serine/threonine-protein kinase; ILK-1; ILK-2; p59ILK
遺伝子 ID	3611
SwissProt ID	Q13418
免疫原	ヒトインテグリン結合 ILK の合成ペプチド

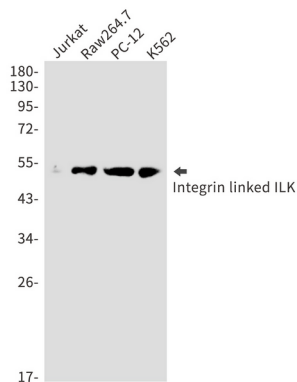
背景

インテグリン結合キナーゼ (ILK) は、インテグリンと成長因子を、細胞生存、細胞周期制御、細胞間接着、そして細胞運動に関与する下流経路に結合させます。ILK は、インテグリン、PINCH (Nck2 を介して ILK を RTK に結合させる)、CH-ILKBP、そしてアフィキシンとの相互作用を通じて、細胞外マトリックス (ECM) と成長因子受容体をアクチン細胞骨格に橋渡しする足場として機能します。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



ILK 抗体を使用した、Jurkat、Raw264.7、PC-12、K562 溶解物中のインテグリン結合 ILK のウエスタン ブロット分析。